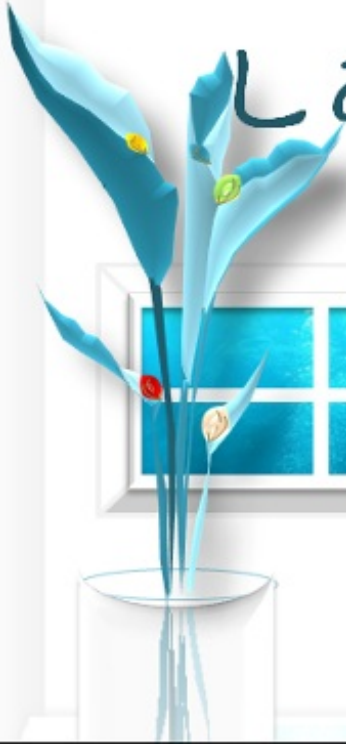
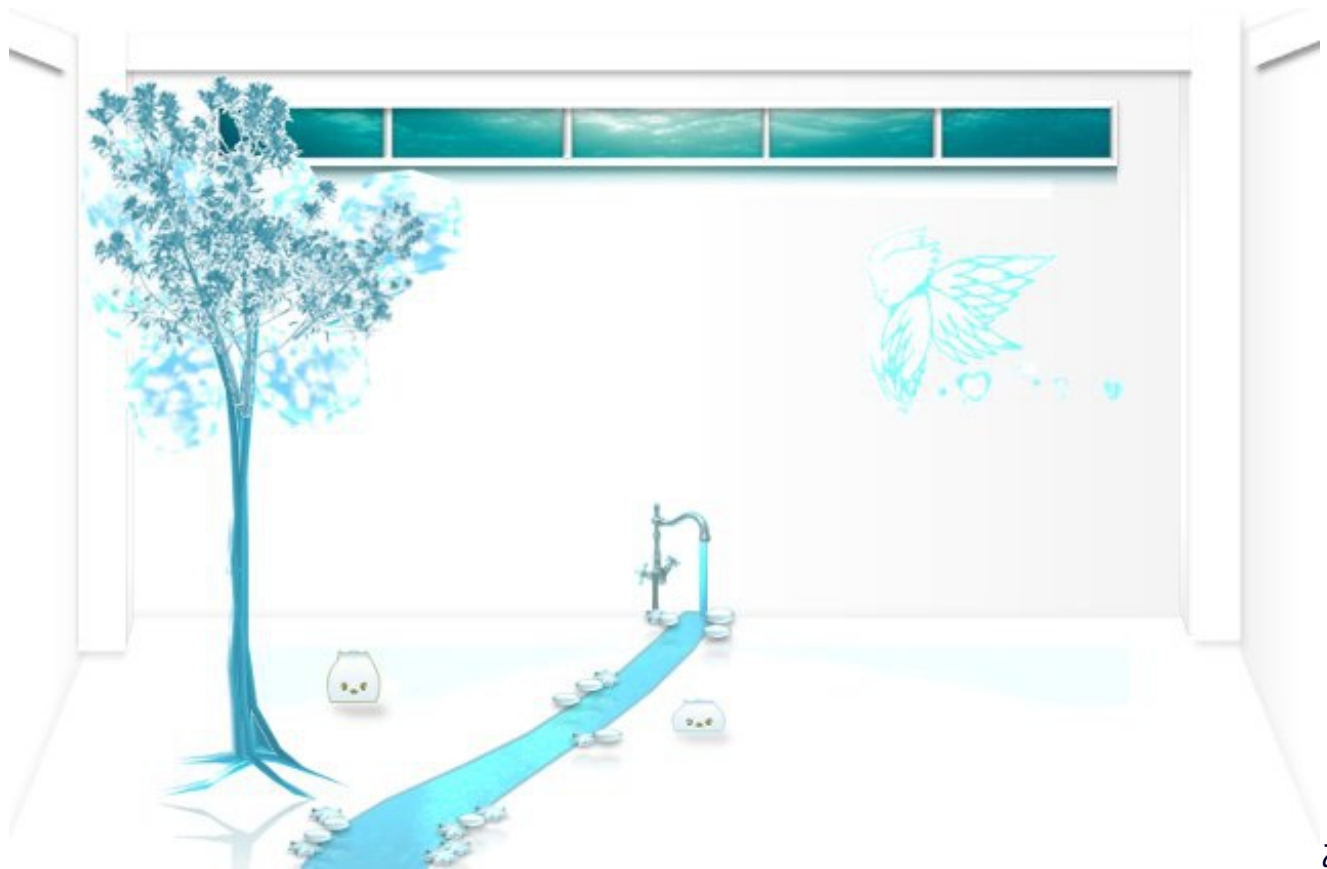


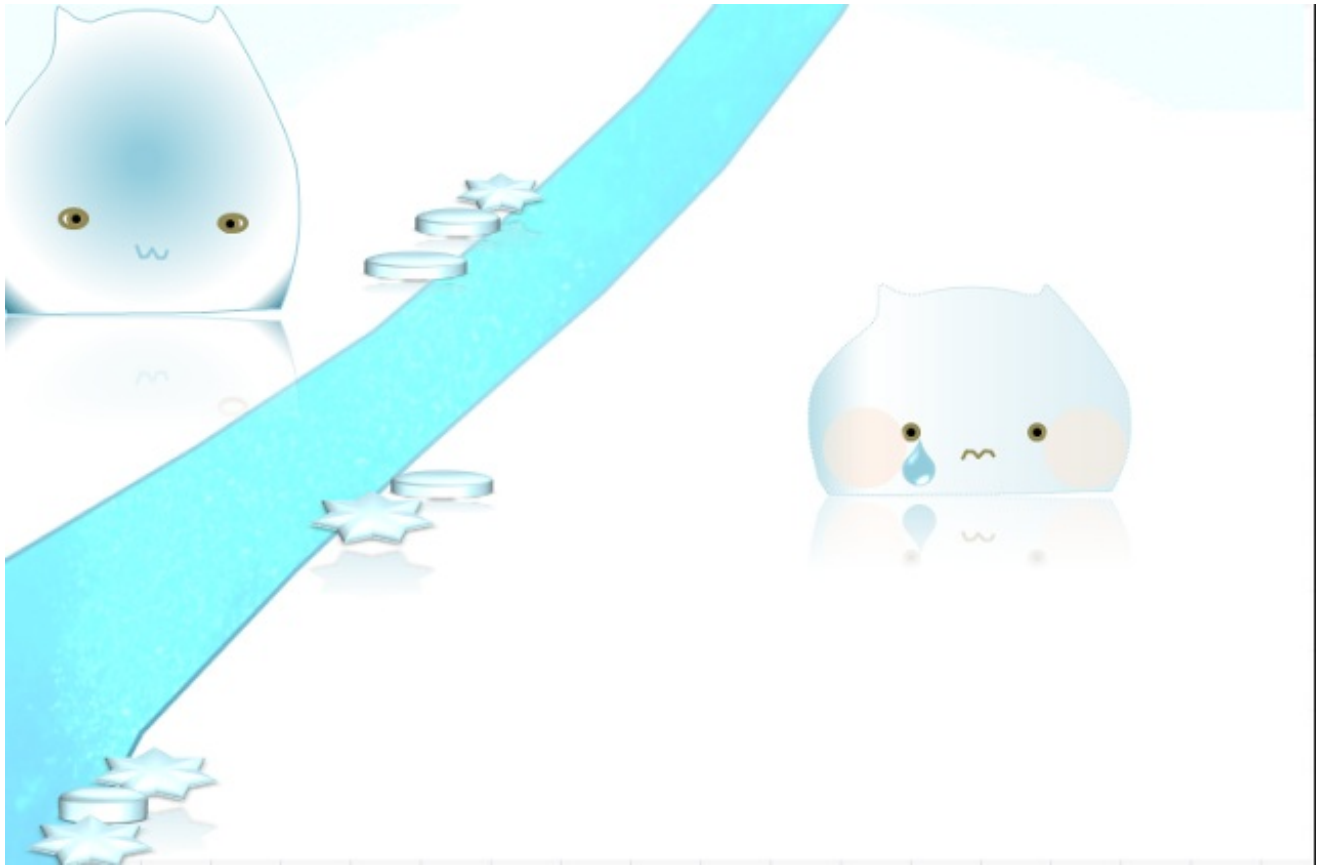
# しあわせのたね





あれ？

あそこ、なんだかこまっているみたいだよ。  
どうしたのかな？



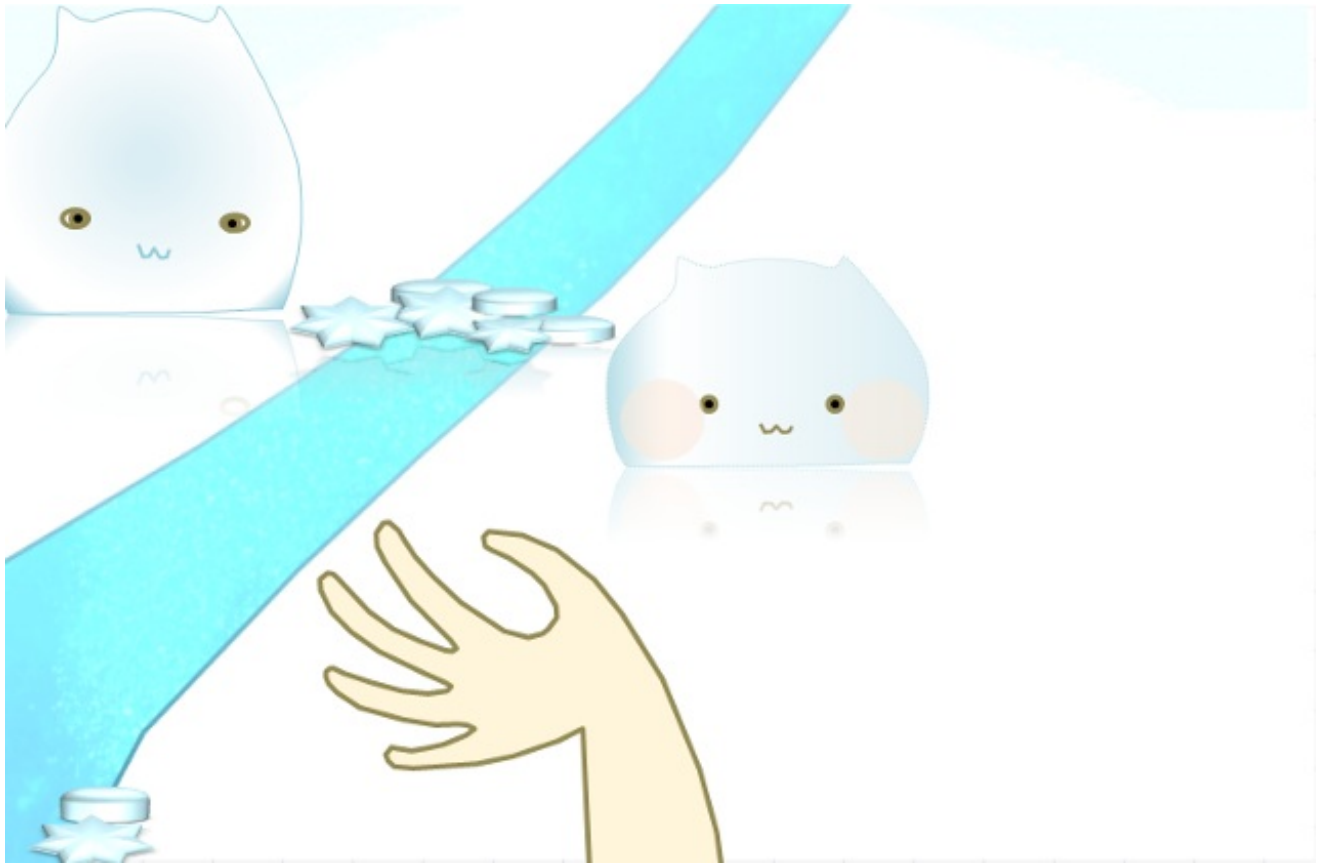
そうか

、このかわをわたりたいんだね。

ママのところへいきたいね。

おてっだいであげたいんだけど、どうすればいいのだろう？

あ！わかった！



これで

ママのところまでいけるかな？  
ほらがんばってわたってごらん！



ぶじに

、ママのところへいけてよかったね！

ぼくは「おてつだいのたね」をてにいれました。



きみ

きみ、ちょっとまって！

なにかかいてあるよ！

でも、なんてかいてあるのかなあ？

そこのほんをよめばわかるかも！



ほらほら

。あぶないよってかいてあったんだね。  
こわ～いめにあうところだったね！  
けがをしなくてよかったね。

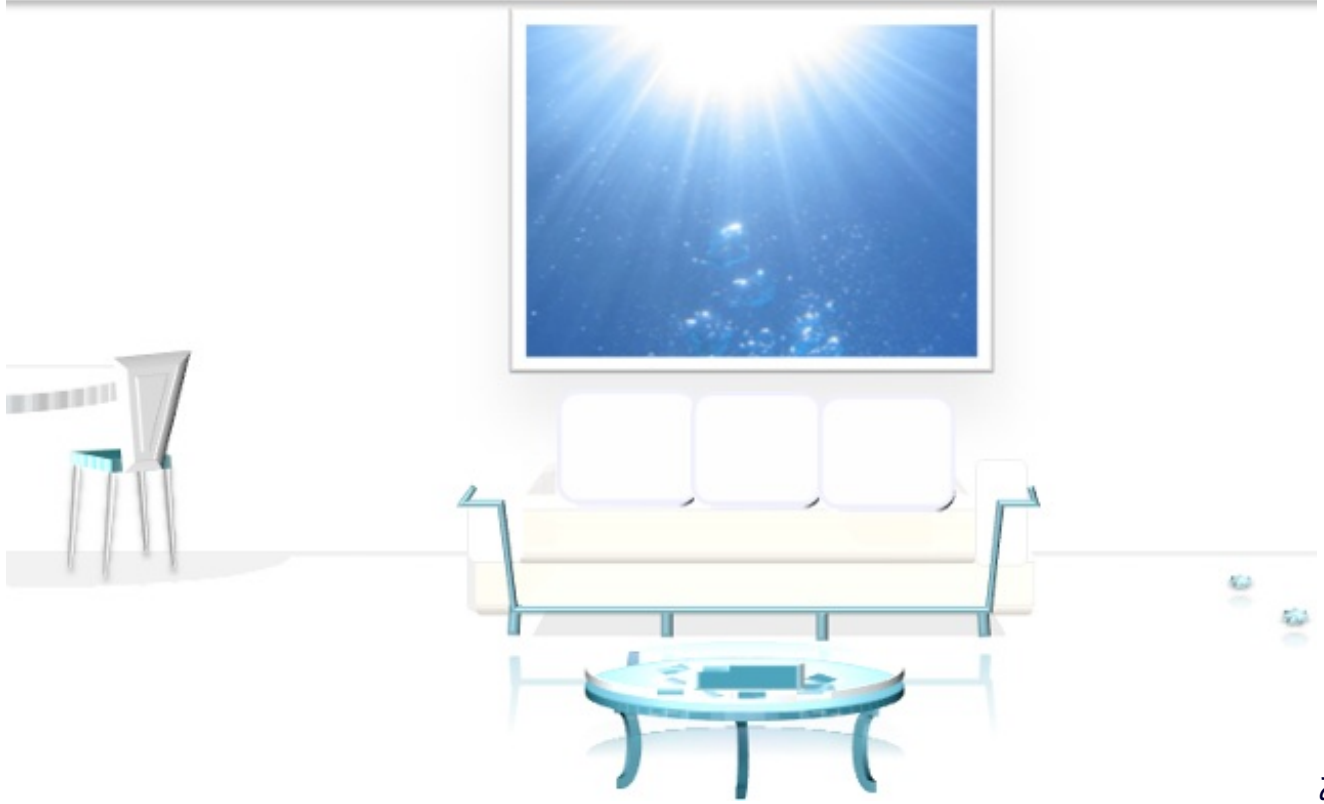


もう、

ここにはちかよっちゃだめだよ。  
さあ、どこかほかであそんでおいで！

そしてぼくは、「まなぶころのたね」をてにいれました。





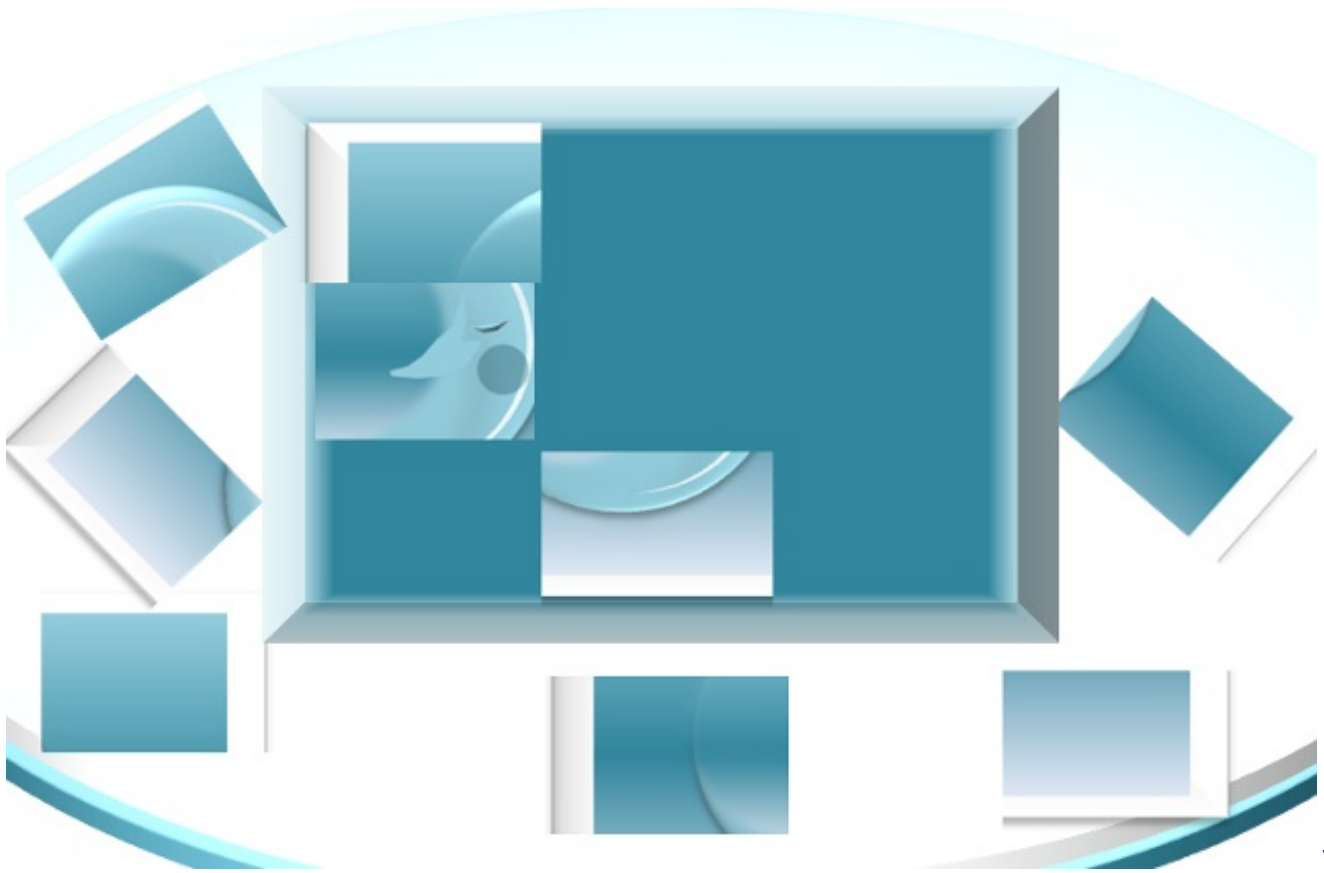
なんだろう？  
テーブルのうえになにかあるよ。

あれは



パズル

みたいだよ。  
とてもむずかしそうだな～。  
ぼくにもできるのだろうか…。



うまく

いかないなあ～。

いっしょうめんめいかんがえてみるよ。



だいぶ

できてきたね！  
さいごまであきらめないよ。



あとす

こしだよ！  
なんだかうれしくなってきた！



わあ！

できたよ！

とてもきれいなおつきさんだったんだね。

そしてぼくは、「がんばるころのたね」をてにいれました。



コだ！ぼくものりたいなあ！  
でも、だれかがあそんでいるね。  
じゅんばんだね～。



あれ？おりちゃんの？  
もうあそばなくていいのかな？





ぼく

にのっていいよっていつてくれるの？  
そうか！かわってくれたんだね！



いきもちをありがとう！  
ぼくはとてもうれしくなりました。

そしてぼくは「ありがとうのころのたね」をてにいれました。



どうし

たの？

どうしてないているの？

ぼくになにかできることがないかな？



あ、も

しかしてねむいのかな？

そうか...ひとりでねるのがさみしいんだね。

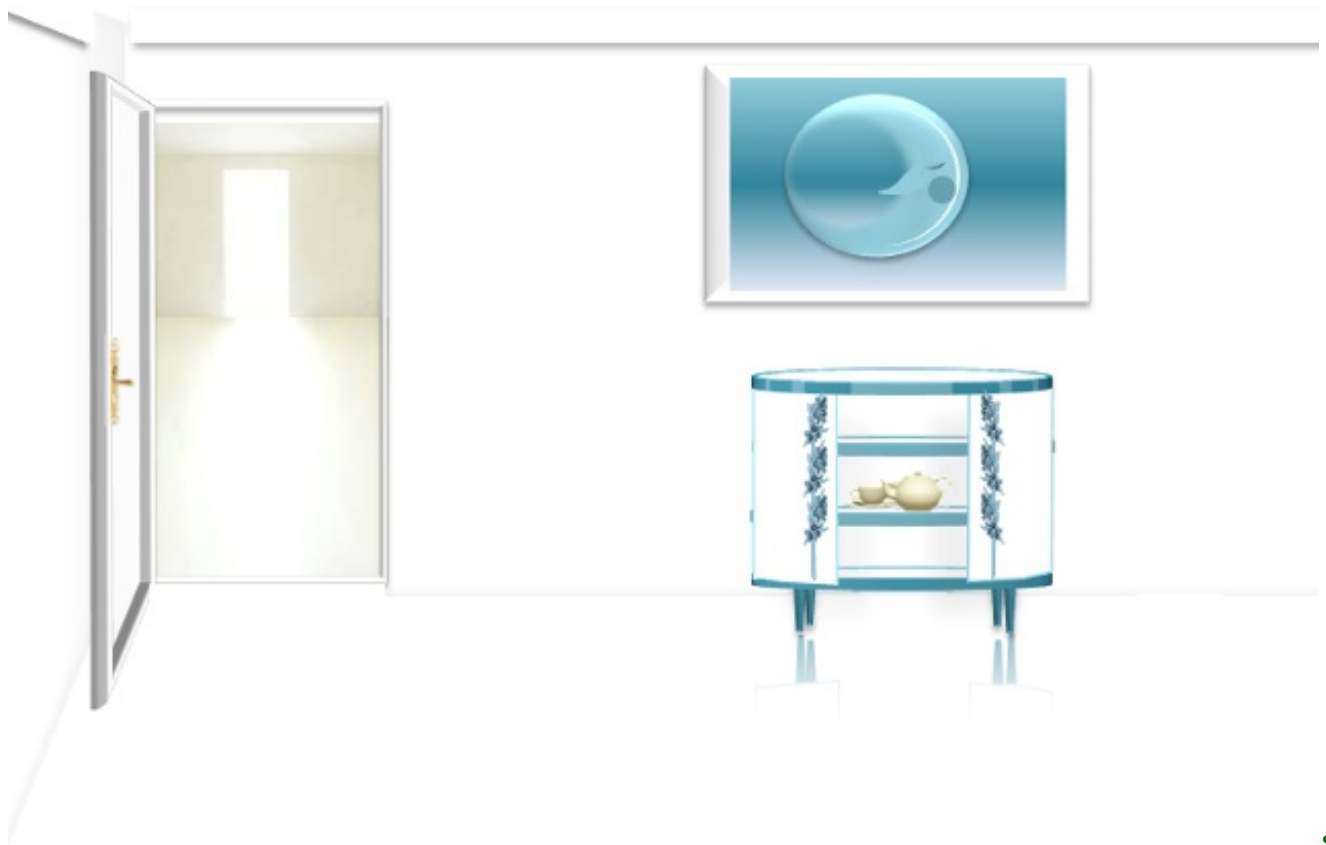
じゃあ、ぼくがそばにいてあげようね！



きみが

ねむるまで、ぼくはそばにいるよ。  
あんしんしてねむっていいよ。

そのこがねむりについたとき、ぼくは「やさしいころのたね」をてにいれました。



よくが

んばったね。

きみはもうここからたびだってもだいじょうぶだ！

ひとつのいのちをだいじに、たびだっておくれ！



きみに

はだいじな5つのたねがあるんだよ。

どうか、がんばっておおきくおおきくそだてておくれ！

さあ！いってごらん！！



ここは

どこだろう？

ここがどこだかわからないけど、ふしぎとこわくはなかったよ。

そして、ぼくはいつしかねむくなり、ねむってしまいました。

とてもここちよい、ふんわかしたねむりでした。

ほらほら...きみのママが、きみのことをこころからまっているよ。





どのくらいねむっていたのかな？

あれ？どこからかこえがきこえてきたよ。

かわいいあかちゃん。

どうか、つよく、やさしいひとになっておくれ。

わたしの、かわいいあかちゃん。

END